



Microsoft 365間のテナント移行、
オンプレミスからMicrosoft 365への移行に対応！

データ移行を確実に・効率的に行うAvePoint FLY

はじめに

昨今、ITの発展により多くの企業でDXが促進されクラウドサービスの導入が進んでいます。中でもデジタルワークプレイスを実現できてユーザー満足度が高いMicrosoft 365を導入する企業は多いようです。多くのメリットが注目されるMicrosoft 365ですが、一方で既存のクラウドサービス、オンプレミスに保管されているデータの移行という課題も存在します。

こうした悩みを解消するツールが、Microsoft 365へのデータ移行に特化した「AvePoint FLY」です。本資料では、データ移行に関する課題の他にAvePoint FLYの概要やメリットを紹介します。

CONTENS

クラウド導入時、導入後の大きな負担になる「データ移行」

クラウドサービスにおけるデータ移行の悩み	3
適切にデータ移行するには専用ツール+サービスの活用が不可欠	4
こんなときに活用すべきデータ移行ツールAvePoint FLY	5

クラウドデータ移行ツール「AvePoint FLY」

AvePoint FLYで移行できるデータ	7
データを移行する3つのステップ	8
データ移行時の5つのメリット	9

テクバンのデータ移行サービス

データ移行のプランニングから移行後のサポートまで	11
Microsoft 365の導入・運用支援はテクバンにご相談を！	12

適切にデータ移行するには専用ツール+サービスの活用が不可欠

データ移行における4つの課題

データ移行でエラーが発生しデータが破損したり、想定外の時間がかかったりすると業務に影響が出てしまいます。トラブルなく企業のデータ移行を実現するには、専用のツールやサポートサービスを活用する方が安全かつ、効率よく実施できるでしょう。



データの移行に膨大な時間がかかる

データ移行は数日～数週間で行えるようなものではなく、検証から本番移行を含めて4、5か月程かかるケースが多いとされています。



データ移行時のトラブルが多い

データ容量が多いと転送速度も下がるため、エラーが発生したり、データが破損したりすることが多いようです。



平日に行うと業務に支障が出る

システムを停止するため平日のデータ移行は難しく、通常業務を停止できる土日を使いデータを移行する必要があります。



メールデータ移行を各従業員で行うため非効率

クラウドで管理されていないメールクライアントソフトのメールデータの移行は、従業員が各自で実施する必要があります。

AvePoint FLYで移行できるデータ

様々なクラウドやオンプレミス環境に対応

AvePoint FLY は、10 種類以上のクラウドやオンプレミスの環境からデータを移行、統合、変換できます。ドラッグ&ドロップ操作でメール・ファイル・コラボレーションなどを簡単に移行可能です。

クラウドからの移行	オンプレミスからの移行	移行先環境
他の Microsoft 365 テナント	SharePoint 2003 / 2007 / 2010 / 2013 / 2016	Microsoft 365 Groups
Box	File systems & Networked shares	Microsoft Teams
DropBox	Exchange Public Folders	Exchange Online
Google	Lotus Notes*	OneDrive for Business
Slack	OpenText LiveLink*	SharePoint Online
Egnyte*	Documentum & eRooms*	Public Folders
Other cloud files*	Websites*	Planner

*移行サービスの利用が必要です。

(出典) AvePoint社HPより引用し改変
<https://www.avepoint.com/jp/products/hybrid/office-365-migration>